

西岡見聞録

12月の西岡公園見どころは!?

いよいよ真っ白な雪に覆わる季節を迎えます。あまりの寒さに身構えてしまいそうですが、西岡公園は冬ならではの楽しみがいっぱいです！水源池が完全に凍ると池を自由に横断する動物たちの足跡が見られます。もちろん園内でも様々な足跡を目にすることが出来ます。キタキツネやタヌキ、イタチ、テンの仲間、エゾリス、シカなどなど。その特徴を知ると普段なかなか目にする事が出来ない動物たちの生活を垣間見ることができるでしょう。木々の葉が完全に落ちることで、野鳥観察にも適した季節と言えます。冷えた身体を温めに、散策後は管理事務所へコーヒーを飲みに行きましょう！読書スペースもありますし、双眼鏡のレンタルも行っていますよ♪

【西岡公園で12月に見られる野鳥たち】

(日本野鳥の会 2016.12.4 札幌支部 HP より)

- ・カモメ SP
- ・ハシストガラ
- ・ゴジュウカラ
- ・トビ
- ・ヤマガラ
- ・キバシリ
- ・コゲラ
- ・ヒガラ
- ・ツグミ
- ・アカゲラ
- ・シジュウカラ
- ・ハシストガラス
- ・ヒヨドリ

キレンジャクは
目尻の
黒い模様が
冠羽まで
届いていない。



【キレンジャクとヒレンジャク】

冬鳥として渡来。
尾の先端が黄色いキレンジャクと
赤い（緋色）ヒレンジャク。
「連雀」スズメのように群れを作り、
時には100羽以上にもなる。

「チリリ」「ピリリ」と小さな鈴が
鳴っているかのように鳴く。

【オツネトンボ】

多くのトンボが卵、幼虫で越冬しますが
成虫で冬を越すトンボ。
細くて、茶色いトンボで、
木の割れ目や打ちた切り株、
建物の隙間などで冬を越します。



正面から見ると
愛嬌のある顔を
しています。



【ヤドリギ】

落葉樹に寄生し、その枝や幹から
養分を吸い取って成長する。
落葉すると緑色の丸い固まりが目立ちます。
レンジャクはその実が大好物。

木道

木道に雪が積もると
滑りやすくなります。
木道から足を踏み外さないよう
お気をつけください！

【葉をつけたまま冬を越す植物】

【フッキソウ】

5月に白い花を咲かせ、常緑で
よく茂ることから「富貴草」と呼ばれ
縁起が良いとされている。
秋には丸く、白い実をつける。



【ナニワズ】

秋に葉を付けて雪の下でそのまま過ごし、
雪解けと同時に黄色い花を咲かせます。



【足跡ウォッチング】

水源池が完全に凍ると
動物の足跡が見られます。
園内でも様々な動物の足跡を
見れますよ！

冬期間駐車スペースが限られます。
なるべく公共機関をご利用いただきますよう
ご協力をお願いします。

